

# 次世代施設園芸 愛知拠点

## ポイント

- 空調及び根域の複合環境制御技術によりミニトマトの収量21t/10aの高単収で安定生産の実現。
- 下水処理場の放流水等の熱エネルギーの活用により化石燃料使用量を3割以上削減。



## コンソーシアム構成員

### 愛知豊橋次世代施設園芸推進コンソーシアム

民間企業、生産者、地方自治体、実需者、研究機関、その他

## 施設整備主体

園芸施設  
エネルギー供給施設  
種苗生産施設  
集出荷施設

民間企業

## 栽培品目・面積(ha)・栽培方法

・ミニトマト 3.6ha (長期多段栽培)

## 収量(t)

・ミニトマト 726t/年(21t/10a)

住所：愛知県豊橋市新西浜町  
【愛知県豊川流域下水道：豊川浄化センター】(敷地面積415,604㎡)

## 事業実施概要

### 拠点整備

- ・2.9haと0.7haの高軒高多連棟ハウス2棟を整備しミニトマトを生産。
- ・下水処理場の放流水等の熱エネルギーを活用し、化石燃料使用量を3割以上削減。
- ・契約販売に応じた選果・パッキングを行う集出荷施設を整備。
- ・施設園芸の計画生産のため、完全人工光の施設を備えた種苗生産施設を整備し、拠点内で完全生産を実現。

### 技術実証

- ・植物の状態に応じた最適な生育環境を生み出すシステム(ミストによる飽差管理、炭酸ガス供給及び根域環境制御等)を大規模温室に設置し、安定生産管理技術を用いて周年で高品質・高収量栽培の実証を実施。
- ・下水処理場の放流水等の熱エネルギーを利用した加温技術の実証を行うとともに、その他下水道資源(CO<sub>2</sub>など)の施設園芸への活用を検討。
- ・施設園芸農家の品質・収量アップと収入向上に繋がる生育・作業データ等の還元及び助言を行うなど、拠点外への普及拠点として位置づけ。

### 環境整備

- ・民間企業、生産者、県、市、農協及び契約販売先などで構成するコンソーシアムを設置。
- ・消費者の嗜好や需要に関する市場調査、それに合わせた新品種・品目の先行栽培での地域展開。
- ・他産地との差別化によるブランド構築、スーパーや販社への販促活動による新規販路の開拓。